

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821320000	30803821320000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	富郷ダム	富郷ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2017/4/26	2017/4/26	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	9:40	10:50	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	雨	雨	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	17.6	17.4	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	62.0	35.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.4	3.5	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	12	12	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	436.24	436.24	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	逸見武史	逸見武史	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	7	8	様式I-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Elakatothrix属		1200		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		1200			
	その他の非遊泳性緑色単細胞			2400		
	その他の非遊泳性緑色群体			3200		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群			2400		
	その他のAulacoseira属		2400			
	Handmania属		50000	37000		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		7200	3600		
	Asterionella formosa群		1600	4800		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		6000	11000		
	Ulnaria japonica			400		
	その他のイタケイソウ科珪藻		200			
	Nitzschia属		1200	2400		
黄金藻綱	Dinobryon属		210000	150000		
	Mallomonas属			2400		
	Uroglena americana		690000	1900000		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		400	400		
	その他のPeridinium属		2400	6000		
クリプト藻綱	クリプト藻			2400		
	合計		973800	2128400		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		13	15		出現した種類数を記入する。

富郷 植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821320000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	富郷ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2017/5/9	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	9:30	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	雨	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	13.2	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	60.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.5	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	434.23	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	逸見武史	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタシ・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	9	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Elakatothrix属		4800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	Oocystis属		9600		
	Scenedesmus属		9600		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		14000		
	その他の非遊泳性緑色群体		1600		
珪藻綱	Handmania属		150000		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		17000		
	Urosolenia属		2400		
	Asterionella formosa群		19000		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		4800		
黄金藻綱	Dinobryon属		12000		
	その他の黄金藻		7200		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		400		
	その他のPeridinium属		24000		
クリプト藻綱	クリプト藻		12000		
合計			288400		細胞数または群体数の合計を記入する。
種類数			15		出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821320000	30803821320000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	富郷ダム	富郷ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2017/6/6	2017/6/6	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	10:20	11:20	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	24.2	24.8	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	55.0	18.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.0	4.2	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	11	11	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	428.84	428.84	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.04	1.04	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	逸見武史	逸見武史	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	12	13	様式I-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Monoraphidium属		6000		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	Oocystis属		46000	4800		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		1200	2400		
	その他の非遊泳性緑色単細胞		53000	19000		
	その他の非遊泳性緑色群体		9600	77000		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		4800	2400		
	Handmania属		58000	28000		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		4800	14000		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1200			
黄金藻綱	Dinobryon属		38000	590000		
	その他の黄金藻		3600	4800		
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella			200		
	Peridinium bipes			14000		
	その他のPeridinium属			2400		
クリプト藻綱	クリプト藻		4800	2400		
	合計		231000	761400		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		12	13		出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/7/13	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	10:10	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	29.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	54.0	採水位置の水面より底までの深さを1/10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.7	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	13	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	428.55	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	3.95	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	14	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		4800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		29000	
	Oocystis属		24000	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		500000	
車軸藻綱	Mougeotia属		2200	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		4800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		14000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		1200	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		2400	
	Tabellaria属		400	
	Achnantheidium属(広義)		1200	
	その他のハネケイソウ科珪藻		1200	
	Nitzschia属		1200	
黄金藻綱	Dinobryon属		12000	
	Mallomonas属		3600	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		600	
	Peridinium bipes		400	
クリプト藻綱	クリプト藻		12000	
		合計	615000	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	18	出現した種類数を記入する。

富郷 植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/8/1	2017/8/1	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:40	11:48	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	33.2	32.5	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	56.0	27.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	6.0	5.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	428.78	428.78	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	3.41	3.41	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	15	16	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Monoraphidium属		6000		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Oocystis属		65000	62000	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		520000	360000	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻			1200	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		60000	66000	
	その他の小型コアミケイノウ亜目珪藻		2400	3600	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		300	2400	
	Peridinium bipes			800	
クリプト藻綱	クリプト藻		3600	11000	
			657300	507000	
	合計				細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		7	8	出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/9/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:20	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	24.5	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	66.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	8.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	439.01	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.42	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタシ・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	19	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Ankyra-Schroederia属		1200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Elakatothrix属		11000	
	Oocystis属		12000	
	Coelastrum属		9600	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		67000	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		1200	
	その他の緑色糸状体		800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		170000	
	Fragilaria crotonensis		1200	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		600	
	Peridinium bipes		100	
クリプト藻綱	クリプト藻		8400	
		合計	283100	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	12	出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/10/3	2017/10/3	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:25	10:54	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	雨	雨	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	21.0	20.5	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	70.0	40.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	6.0	5.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	444.69	444.69	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	20	21	様式I-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		4800		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。その他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		3000	4200	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		4800	4800	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		600		
	その他の非遊泳性緑色単細胞		29000	10000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		46000	23000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		1800	1200	
黄金藻綱	Dinobryon属		59000	52000	
	Mallomonas属		1800	600	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		3000	7200	
クリプト藻綱	クリプト藻		18000	9600	
	合計		171800	112600	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		11	9	出現した種類数を記入する。

富郷ダム_植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/11/1	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:40	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	13.2	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	71.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	11	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	444.91	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	10.04	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	10.04	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	22	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		400	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		15000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		3600	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		300	
	Achnanthydium属(広義)		600	
	その他のハネケイソウ科珪藻		300	
黄金藻綱	Mallomonas属		7800	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		200	
	その他のPeridinium属		600	
		合計	28800	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	9	出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/12/5	2017/12/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:30	10:50	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	6.7	6.4	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	70.0	45.6	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.5	5.7	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	6	6	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	442.81	442.81	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.64	1.64	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	3.95	3.95	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	25	26	様式I-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Scenedesmus属		400		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
車軸藻綱	Staurastrum属		100		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		1000	1200	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		4800	1800	
	Asterionella formosa群		800		
	Fragilaria rumpens		200		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1200	1200	
	Ulnaria japonica		100		
	その他のイタケイソウ科珪藻		100		
Gomphonema属		300	100		
Nitzschia属		300			
黄金藻綱	Mallomonas属		200	200	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes			100	
	その他のPeridinium属		400	200	
	合計		9900	4800	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		13	7	出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/1/9	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:30	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	5.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	64.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	437.93	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	22.15	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	27	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		2400	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Scenedesmus属		800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		13000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		17000	
	Asterionella formosa群		4800	
	Fragilaria crotonensis		1100	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		3600	
	Ulnaria japonica		100	
	Nitzschia属		1200	
黄金藻綱	Mallomonas属		300	
渦鞭毛藻綱	その他のPeridinium属		2400	
クリプト藻綱	クリプト藻		9600	
	合計		56300	
	種類数		12	出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821320000	30803821320000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	富郷ダム	富郷ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/2/6	2018/2/6	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:45	11:25	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	1.2	1.6	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	62.0	35.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.0	5.6	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	10	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	434.82	434.82	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	逸見武史	逸見武史	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	28	29	様式I-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		1200	1800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属			1600	
車軸藻綱	Cosmarium属			600	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		1800	1200	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		6000	9000	
	Handmania属		2400	600	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		13000	53000	
	Acanthoceras zachariasii			600	
	Asterionella formosa群		34000	72000	
	Fragilaria crotonensis			1800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		17000	16000	
	Tabellaria属		600		
	Ulnaria japonica		1800	1200	
	Achnantheidium属(広義)		600	600	
	その他のハネケイソウ科珪藻		1200		
	Nitzschia acicularis群			600	
	Nitzschia属			1800	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes			100	
	その他のPeridinium属		600	600	
	合計		80200	163100	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		12	17	出現した種類数を記入する。

富郷ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821320000
ダム名	富郷ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821320000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	富郷ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2018/3/7	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	9:25	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	6.3	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	60.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 1.0mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.6	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	12	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	434.34	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	7.30	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	逸見武史	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	30	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Elakatothrix属		600	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	Scenedesmus属		1200		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		600		
	その他の非遊泳性緑色単細胞		2400		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		4200		
	Handmania属		1200		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		5400		
	Asterionella formosa群		67000		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		49000		
	Tabellaria属		400		
	Ulnaria japonica		4200		
	Diatoma属		4800		
	その他のイタケイソウ科珪藻		300		
	Achnanthyidium属(広義)		600		
黄金藻綱	Dinobryon属		800		
	Mallomonas属		600		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		200		
クリプト藻綱	クリプト藻		300		
	合計		143800		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		18		出現した種類数を記入する。